



『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』 (8) あ、私は土だ！

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

「エコロジーって難しい話じゃなくて、私たちが身近でできることについて教えてくれる話だったらいいなあと思う。それでね、マコちゃん、私は家でコンポストを作ってるんだけど。料理をすることも、そしてそこから出た生ゴミ、生ゴミとは別な呼び方があったら素敵なんだけど。とにかくそれでコンポストを作ることが私にとってはいいのよな。」ある教会に呼ばれて、瀬川神父さんの代理でエコロジーの話をした時に、ある信者さんに言われた言葉である。コンポストを作ることが自分にとっての祈りなのよ、っていうのは素敵だなあとマコは思った。

マコもなるべく生ゴミを捨てないようにつとめるようになった。マコが住み込んでいる西の街の平和センターの敷地には生ゴミを土に埋めるスペースがある。マコがこのことの大切さを知ったのは、『地球再生型生活記』という本を読んだことが一つの刺激になった。そこで書かれていたのは、人間がこの地球に何かしらの善を返すことができる生き方があるのだとしたら、それはどれだけ土を増やしていけるかということだ、ということだった。いのちを循環させることができれば、土は増えていく。そのような生き方ができるか。

土に対する特別な感情が芽生え始めた時に栃木的那須塩原にあるアジア学院を訪問した。アジア学院は、キリスト教の精神に基づいて建てられた農村学校だ。世界中の地域共同体から派遣された人たちがそこで農業、共同体生活、リーダーシップを学んで、それぞれの地域のリーダーとなっていく。そこで今ボランティアとして活動をしているサクラさんがマコを呼んでくれたのだ。サクラさんは以前、西の街の近くに住んでいて、その頃からマコはサクラさんを姉のように慕っていた。サクラさんは仲間たちと収穫した大根を片手に、アジア学院の広大な敷地を案内してくれた。二人で大自然の中を歩きながらいろんなことを話した。そして、いつまでもマコの心に残るだろうことを言ってくれた。

私はさ、都会で生まれ育ってさ、土に触るってことは人生の中でほとんどしてこなかったんだよね。でも、ここに移ってきてからさ、とにかく毎日畑を耕したり、野菜を植えたりして、毎日毎日土に触るんだよね。ある時、祈りのセッションがあって、「あなたを何かのイメージでたとえと何ですか？」という問いかけがあったの。昔だったら、風、とかそんなふうに答えていたかもしれない。でも、その時、自然に、「あ、私は土だ」って思ったのよね。土ってさ、すべてのくちてゆくいのちを全部あるがままに受けとめて新しい命へと変えていくんだよね。



サクラさんは、土と向き合う生活の中で自分のスピリチュアリティの形が変わっていったという話をしてくれた。聖書にもそういえば、人間は土から作られた、と書いてある。Humanの語源もラテン語のHumusから来るんだ。そしてHumusとは腐食土、とか土壌っといった意味だ。いのちを育てていく存在。ああ、いいなあ、とマコは思った。

さて、西の街にて。生ゴミの素敵な呼び方はないかな？そんなことを思いながら、生ゴミを埋めようと、土を掘り返すと、以前の生ゴミが立派な堆肥になっていた。畑に運んで土に混ぜるために、さらに掘り返していると、中からじゃがいもが出てきた。生ゴミの中から生まれたジャガイモだ！ボランティアのチエさんに見せると、「あら、かわいいじゃない。水に入れて、ヨセフさんのところに置こうか。」もう少しでクリスマス。馬小屋で生まれたイエスさまを思いながら、ジャガイモを、願いごとを叶えてくれる“眠るヨセフ像”の傍に置いてみた。

(つづく)

「ラウダート・シ」プロジェクト in 周防大島での活動報告をホームページに載せています。

[「ラウダート・シ」デスク-カトリック広島司教区「平和の使徒推進本部」](#)

来年度も企画しますので、楽しみに！

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・SocialH・Social***H・Social***H・Social***H・Social***H・Social***

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net

